

Press Release

2021年12月1日

株式会社コンカー

富士通、全社 DX プロジェクト「フジトラ」の一環として、 SAP Concur ソリューションを採用 ～7万人の従業員を対象に導入、間接業務からカルチャー変革を進める～

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：三村 真宗、以下 コンカー）は、富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 時田 隆仁、以下 富士通）のグループ間接費管理基盤として、SAP Concur ソリューションが採用されたことを発表いたします。

昨今、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、経費精算業務を含む間接業務領域をはじめ、様々な分野でのデジタル化が急速に進んでいます。また、少子高齢化が進み労働力の減少が続く日本社会において、今後も企業の競争力を高め、継続的に成長し続けるためには、まず間接業務の省力化を進め、企業成長の根幹を支えるコア業務に社員が注力できる環境を作ることが求められています。

富士通では、デジタル時代の競争力強化を目的として、製品やサービス、ビジネスモデルに加えて、業務プロセスや組織、企業カルチャーを変革する全社 DX プロジェクト「Fujitsu Transformation（フジトラ）」を推進しています。その一環として、全従業員が関わる間接業務領域の DX 推進を目的に、経費精算・管理クラウド「Concur Expense」、請求書管理クラウド「Concur Invoice」、出張管理クラウド「Concur Travel」を含む主要な SAP Concur ソリューションの導入に至りました。

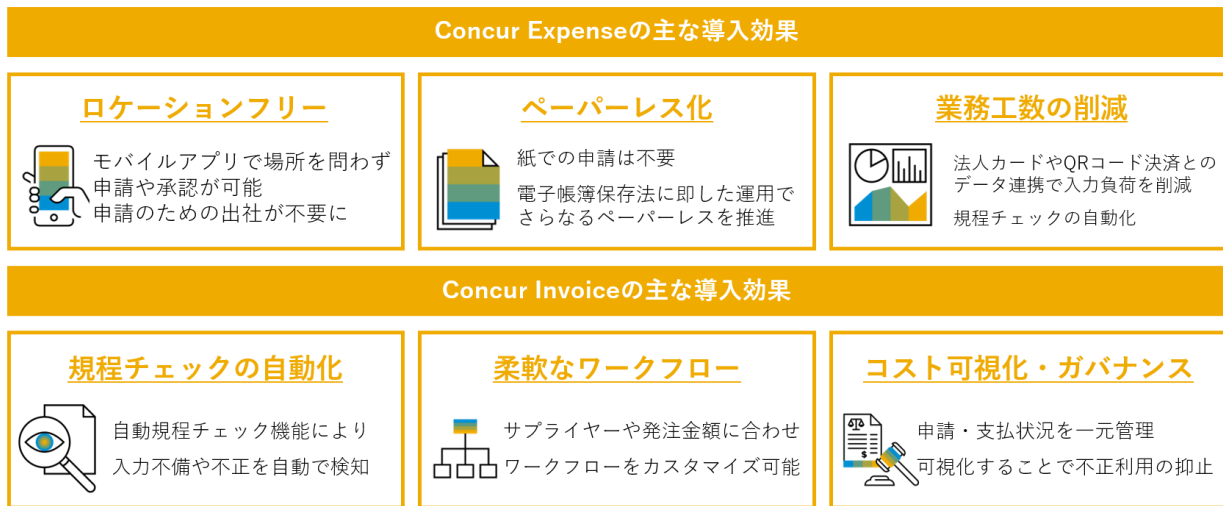
これにより、間接業務の効率化を図ることのみならず、デジタルガバナンスの強化やデータドリブン経営の実現に貢献します。また、従業員がストレスフリーなシステムを体感するとともに、効率化によって生まれる時間を新たな価値の創出に活用することや、Well-being に繋がって行くことを期待しています。

<主な選定ポイント>

- ・様々なデータ連携により、データドリブン経営が実現できること
- ・3つのレス（キャッシュレス、ペーパーレス、入力レス）が実現できること
- ・法人カードやQRコード決済アプリをはじめとする連携サービスの豊富さ
- ・マルチデバイス対応によるロケーションフリー
- ・One Platform でグループ74社の導入が可能なこと

- ・世界標準のソリューションであり、グローバル企業に対応できる機能を備えていること

<SAP Concur 製品の導入効果・メリット>



本ソリューションは、2022年7月を目途に、国内グループ会社74社を含めて従業員約7万人を対象に導入予定です。そして今後は、海外のグループ会社を含むグローバル展開も検討しています。

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010年10月に設立されました。

『Concur Expense（経費精算・経費管理）』・『Concur Travel（出張管理）』・『Concur Invoice（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルアプリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AI を使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができますようサポートします。詳細は concur.com または [SAP Concur ブログ](#) をご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。